

NY マーケットレポート (2016 年 10 月 12 日)

NY 市場では、米 FOMC の議事録公開を控えて、年内の追加利上げが示唆されるとの思惑から円売り・ドル買いが先行し、円は序盤から主要通貨に対して軟調な動きとなり、クロス円も堅調な動きとなった。ドル/円は、一時 104.49 まで上昇し、7 月 29 日以来の高値を付ける動きとなった。その後は、議事録公開を前にやや上値の重い動きとなった。そして、議事録では、「幾人かの FOMC メンバーが、比較的早い利上げが適切になるとの見解を示した」ことに反応し、ドル買い・円売りとなる場面もあったが、全体的には目新しさに欠けるとの見方から、その後は終盤まで上値の重い動きが続いた。

2016年10月12日（水）

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	103.55	103.69	103.29
EUR/JPY	114.46	114.57	114.21
GBP/JPY	127.40	127.58	125.34
AUD/JPY	78.49	78.64	78.00
EUR/USD	1.1057	1.1068	1.1032

LONDON	高値	安値
USD/JPY	103.79	103.42
EUR/JPY	114.49	114.04
GBP/JPY	127.56	126.69
AUD/JPY	78.62	78.39
EUR/USD	1.1058	1.1010

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	104.23	104.49	103.74
EUR/JPY	114.74	115.18	114.34
GBP/JPY	127.27	127.72	126.49
AUD/JPY	78.85	79.02	78.50
NZD/JPY	73.64	73.87	73.20
EUR/USD	1.1010	1.1048	1.1004
AUD/USD	0.7566	0.7587	0.7551

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18144.20	+15.54
S&P500	2139.17	+2.44
NASDAQ	5239.02	-7.77
日経225 (CME)	16965	+80
トロント総合	14618.97	+69.37
ボルサ指数	47915.12	-99.28
ボエスバ指数	休 場	

*ブラジル市場は Our Lady Aparecida で休場

10/13 経済指標スケジュール

08:01	【英国】9月RICS住宅価格
08:50	【日本】9月銀行貸出動向
09:00	【オーストラリア】10月消費者インフレ期待
09:00	【ニュージーランド】10月ANZ消費者信頼感指数
11:00	【中国】9月貿易収支(時間不確定)
13:30	【日本】第三次産業活動指数
15:00	【ドイツ】9月消費者物価指数
15:00	【ノルウェー】3Q住宅価格指数
18:30	【南アフリカ】8月鉱物生産量
18:30	【南アフリカ】8月金生産量
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】9月輸入物価指数
21:30	【カナダ】9月住宅価格指数
21:30	【カナダ】8月新築住宅価格指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1253.80	-2.10
NY 原油	50.18	-0.61
CME コーン	337.00	-8.50
CBOT 大豆	945.50	-8.75

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.858%	0.866%
3年債	1.016%	1.016%
5年債	1.296%	1.294%
7年債	1.584%	1.582%
10年債	1.773%	1.764%
30年債	2.504%	2.502%

ドイツ10年債	0.067%	0.025%
英国 10年債	1.043%	0.979%

10/13 主要会議・講演・その他予定

- ・フィラデルフィア連銀総裁 講演
- ・ミネアポリス連銀総裁 講演
- ・米30年債入札

NY 市場レポート

21 : 50

◀ 要人発言 ▶

ダドリー・NY 連銀総裁

- ・「FOMC の政策運営について、政治は視野にない」
- ・「世界経済に問題はみられない」
- ・「インフレは当局目標を少し下回っている」
- ・「債務コストは時間の経過とともに上昇する」

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

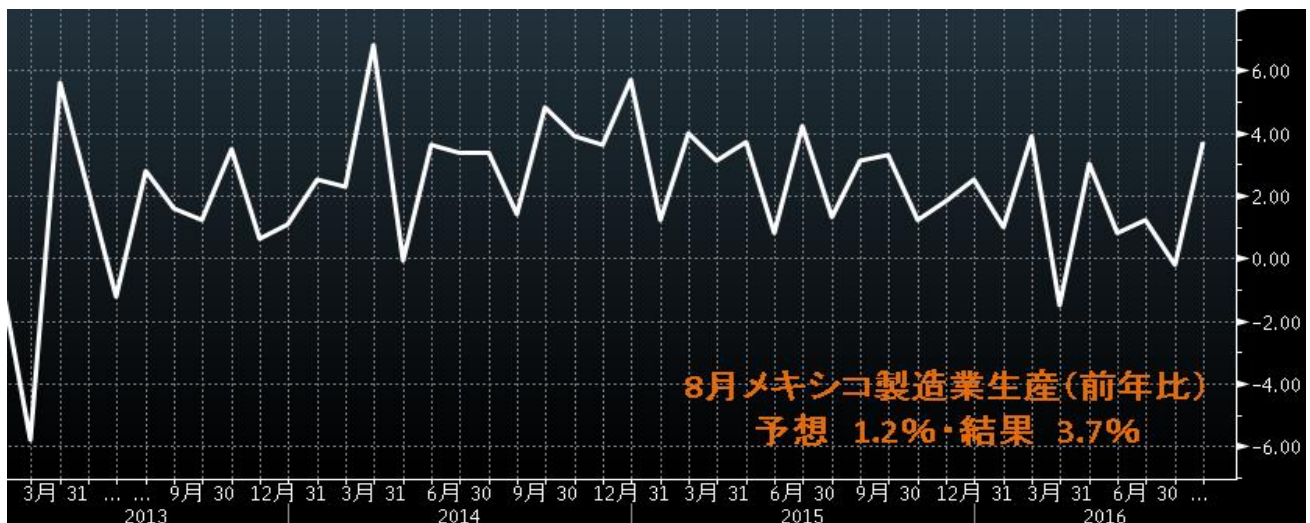
8 月メキシコ鉱工業生産（前月比） -0.4%（予想 0.1%・前回 0.1%）
 前回発表の 0.3%から 0.1%に修正

8 月メキシコ鉱工業生産（前年比） 0.3%（予想 1.0%・前回 -1.3%）
 前回発表の-1.0%から-1.3%に修正

8 月メキシコ製造業生産（前年比） 3.7%（予想 1.2%・前回 -0.5%）
 前回発表の-0.2%から-0.5%に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

22 : 05

《 要人発言 》

ダドリー・NY 連銀総裁

- ・「最大限の雇用と 2%インフレのバランスを模索」
- ・「景気拡大には大いに進展の余地がある」
- ・「FOMC、緩解除はおだやかに進めることが可能だ」
- ・「低金利の維持は年金基金への制裁が目的ではない」
- ・「成長の強まりは金利を上昇に導くだろう」
- ・「持続的な回復は金利の正常化を可能にする」

22 : 10

《ポイント》

トルコでは、経常赤字が市場予想を上回ったことや、不透明な政治情勢などを背景に先行き懸念が広がった。また、隣国イラクとの緊張など安全保障上の問題も圧迫要因となり、トルコ・リラは、対ドルで 7 月に付けた終値ベースでのこれまでの最安値を下回った。



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月米 JOLT 労働調査[求人件数] 544.3 万件 (予想 580.0 万件・前回 583.1 万件)
 前回発表の 587.1 万件から 583.1 万件に修正



出所 : Bloomberg

◀ JOLT 労働調査 ▶

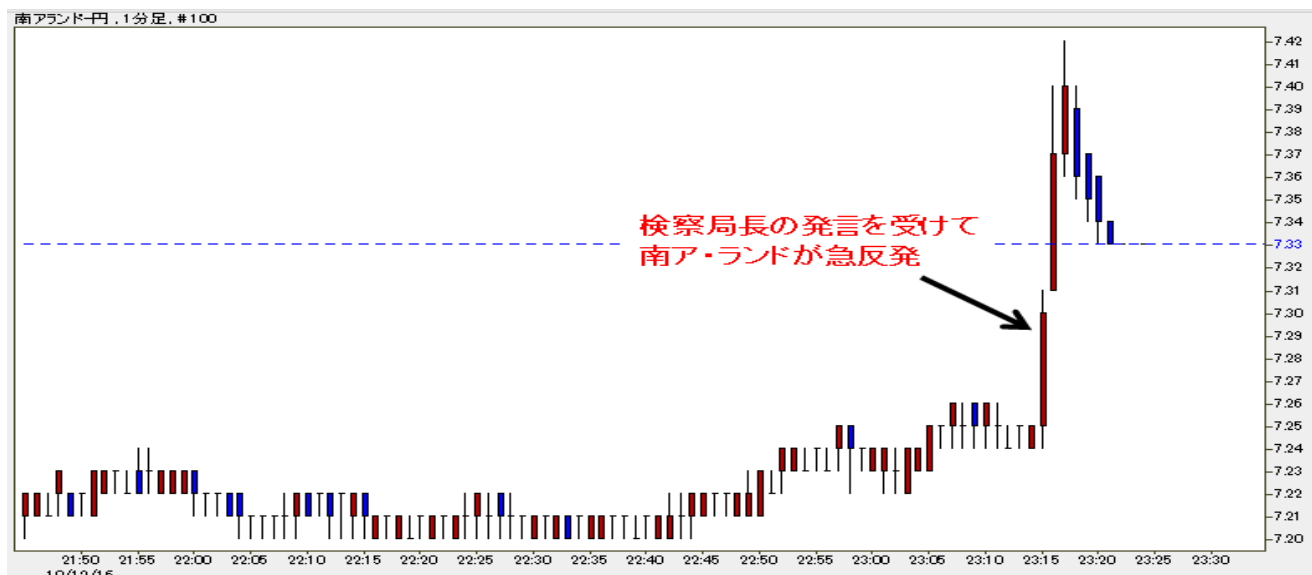
8 月・・・7 月・・・6 月・・・5 月・・・4 月・・・3 月・・・2 月
 求人件数・・・544.3・・・583.1・・・564.3・・・551.4・・・584.5・・・567.0・・・560.8

米労働省が発表した 8 月の求人労働移動調査 (JOLTS) では、求人件数が前月比-38 万 8000 件の 544.3 万人と、8 ヶ月ぶりの低水準となり、2015 年 8 月以来で最大の減少幅となった。求人の減少は、製造業や建設業、小売業、教育・ヘルスケアなど広範に及んだ。8 月に雇用された労働者は 521 万人と、前月の 526 万人を下回った。自発的離職者は 298 万人で、前月からほぼ変わらず。解雇者は 162 万人と、前月の 164 万人から減少した。

23 : 15

南ア・ランドが主要通貨に対して急反発。

南ア国家検察局の局長は、ゴードン財務相から提出される異議申し立てを検討することに前向きだと議会で述べたことが材料視された。



南ア・ランド/円 1 分足 出所 : Net Dania

0:30

《米財務省 3 年債入札》

最高落札利回り・・・1.045%（前回 0.947%）
 最低落札利回り・・・0.900%（前回 0.800%）
 最高利回り落札比率・・・56.64%（前回 34.98%）
 応札倍率・・・2.97 倍（前回 2.77 倍）

《ポイント》

OPEC（石油輸出国機構）が発表した 10 月の月報によると、9 月の加盟国の産油量は前月比 22 万 0100 バレル増の日量 3339 万 4000 バレルとなった。サウジアラビアは減ったが、イラクやナイジェリア、リビア、イランが増やしたため、全体で前月を上回った。

9 月の産油量を加盟国別で見ると、サウジは日量 1049 万 1000 バレル（8 万 7500 バレル減）、イラクは 445 万 5000 バレル（10 万 5000 バレル増）、イランは 366 万 5000 バレル（2 万 1400 バレル増）、ベネズエラは 208 万 9000 バレル（1 万 8000 バレル減）、アンゴラは 176 万 6000 バレル（1 万 4100 バレル減）、ナイジェリアは 152 万 4000 バレル（9 万 5300 バレル増）、リビアは 36 万 3000 バレル（9 万 2600 バレル増）だった。

9 月の世界全体の石油供給量は 146 万バレル増の日量平均 9640 万バレル。ロシアなど OPEC 非加盟国の産油量が計 124 万バレル増加した。OPEC のシェアは 34.6%に低下した。2016 年の世界需要見通しは日量 9440 万バレルと、前月の予想から 13 万バレル増加。2017 年見通しは 14 万バレル増の 9556 万バレル。

2:00

《米財務省 10 年債入札》

最高落札利回り・・・1.793%（前回 1.699%）
 最低落札利回り・・・1.650%（前回 1.590%）
 最高利回り落札比率・・・45.15%（前回 31.81%）
 応札倍率・・・2.53 倍（前回 2.35 倍）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、トルコで開かれた産油国の会合で増産凍結などの具体策が協議されなかったことから原油価格が下落となったことで、市場心理が圧迫され、主要株価は続落となった。



出所：Bloomberg

3 : 00

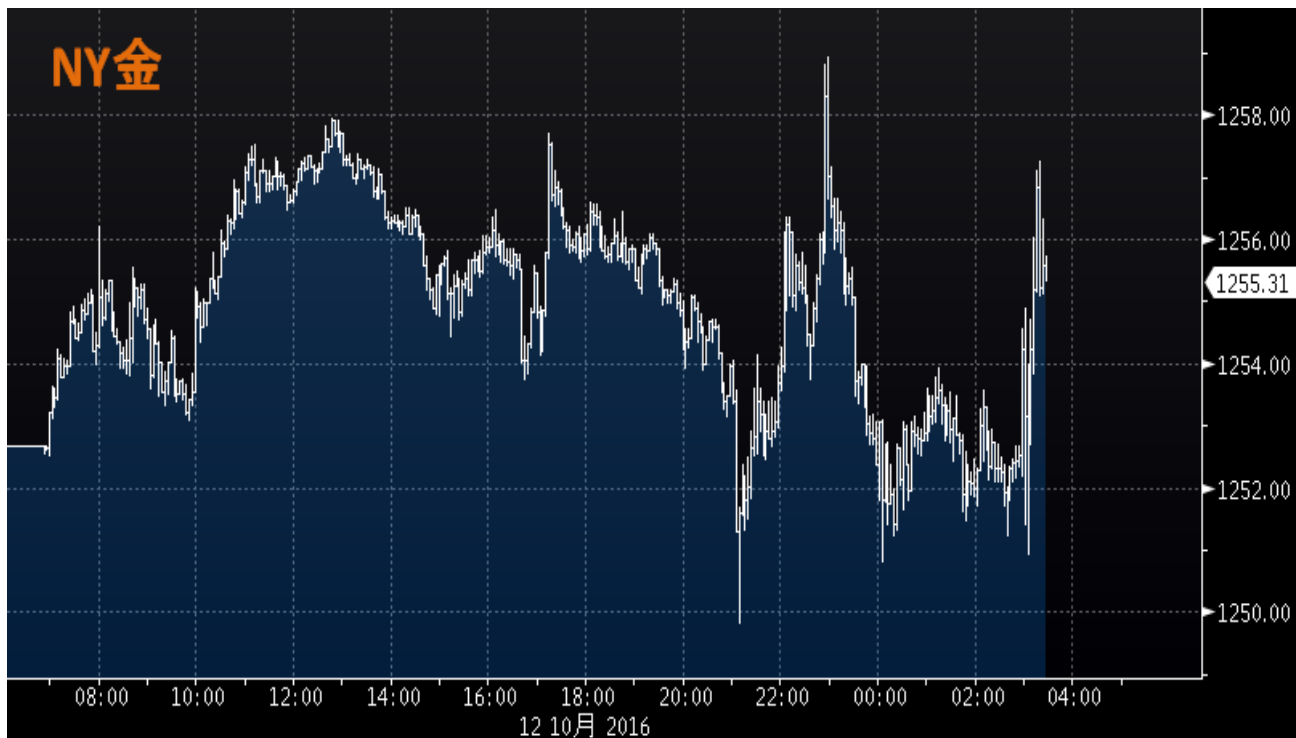
9 月 20-21 日の FOMC 会合の議事録を公表

- ・「幾人かのメンバーは、比較的早い利上げを予想」
- ・「金利据え置きは僅差の決定だった」
- ・「大部分の当局者は、リスクはほぼ均衡と判断」
- ・「多くの当局者は、労働市場のスラック(たるみ)は残っていると判断」
- ・「多くのメンバーは、インフレ圧力の兆候はほとんどないと判断」
- ・「一部の当局者は、海外の下振れリスクを重要視している」
- ・「幾人かの当局者は、今後数年の引き締めを予想」
- ・「幾人かの当局者は、インフレには複数の向かい風があると判断」

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 2.10 ドル安の 1 オンス=1253.80 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが円やユーロなど主要通貨に対して上昇し、ドルの代替資産とされる金の売りが先行した。また、FRB が 12 月に追加利上げに踏み切るとの観測も根強いことも圧迫要因となった。

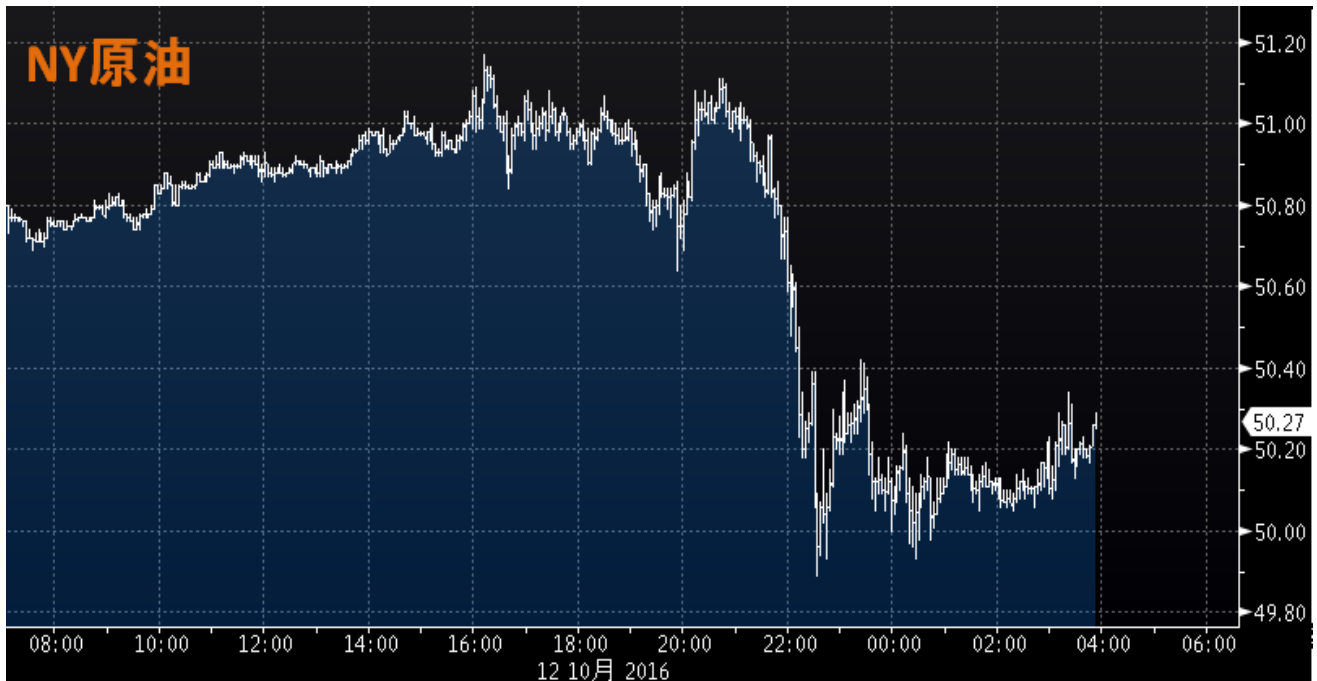


出所 : Bloomberg

《 NY 原油市場 》

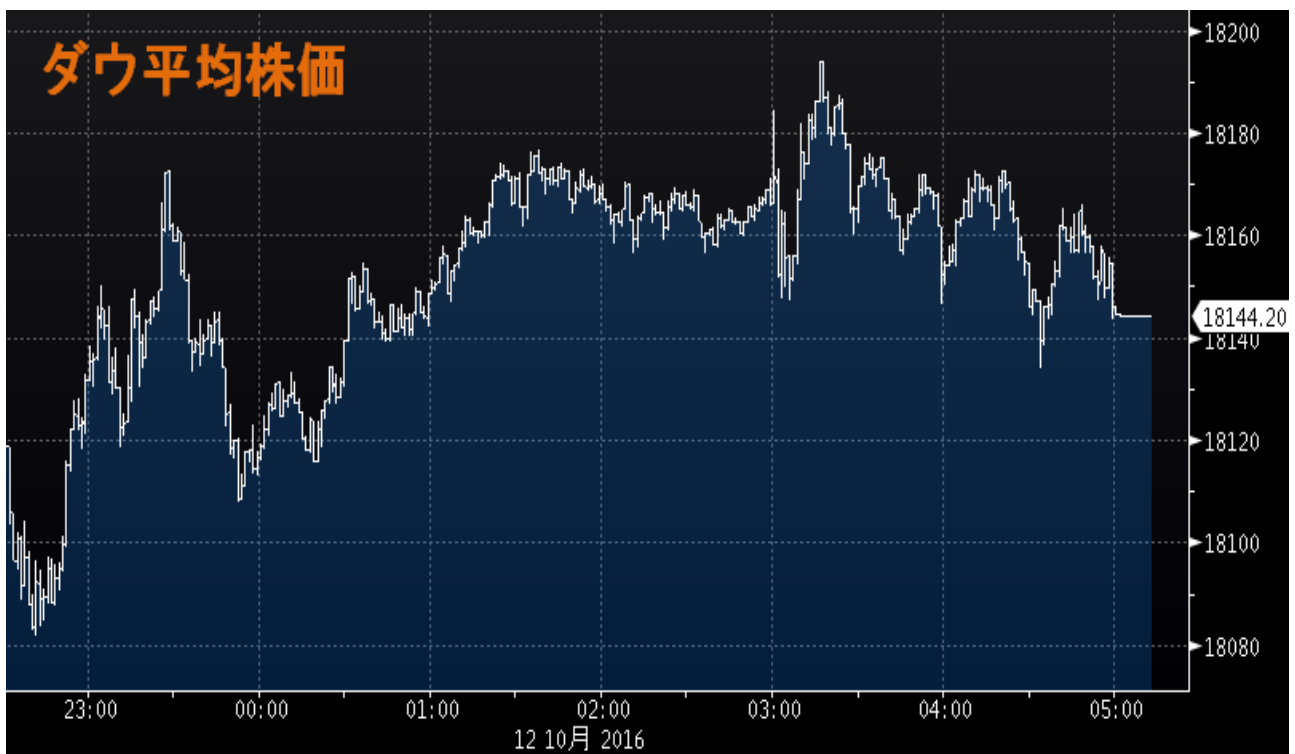
NY 原油は、中心限月が前日比 0.61 ドル安の 1 バレル=50.18 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC の月報で、加盟国の 9 月の産油量が増加したことが明らかになった上、ロシアが減産に向けて OPEC と協調することに懐疑的な見方も広がり、売りが優勢となった。



《米株式市場》

米株式市場は、前日の大幅安で値頃感の出た銘柄に買いが入る一方で、米企業の業績先行きや原油価格の下落を嫌気した売りが出るなど、売り買い交錯する動きが続いた。その後は、もみ合いの動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤からマイナス圏での動きとなったが、その後はプラス圏に転じたものの、上値の重い動きが続いた。



《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の年内利上げ観測を背景に、ドル買い円売りが優勢となった。そして、円が主要通貨に対して軟調な動きとなったことから、クロス円も堅調な動きとなった。ただ、原油価格の下落なども影響して、午後にはやや上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。